

【科目名】運動学実習		【担当教員】永松一真 (メールアドレス) nagamatsu@nur05.onmicrosoft.com (オフィスアワー) 火曜～金曜 (8:30 ~ 18:00)						
【授業区分】専門分野 (基礎作業療法学)	【授業コード】 4-21-0785-0-1							
【開講時期】2年次 後期	【選択必修】必修							
【単位数】2単位	【コマ数】15 コマ							
【注意事項】(受講者に関わる情報・履修条件) ・基礎運動学総論および基礎運動学各論を既習したことを前提に実習をします。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) ・事前に教科書を熟読しておくこと。随時レポート提出を行うため、提出期限を守ること。 ・実習では、ジャージなど動きやすい服装で参加すること。								
【講義概要】 (目的) ・実習を通して、運動学的基礎知識を再確認する。 ・四肢および頸部体幹の機能構造を理解する。 (方法) ・運動学に関する実習及び演習を行い、基礎運動学で学んだ内容を確認し、理解を深める。								
【一般教育目標(GIO)】 ・基礎運動学で学んだ知識を、実習により確認する。 【行動目標(SBO)】 ・筋の作用や関節の動きなど、運動学的基礎知識を再確認する。 ・運動学的観点から、人の運動や動作を観察し表現する能力を養う。 ・運動、動作の客観的評価である筋電図、動作解析ソフトを用いて、解析する経験をする。								
【教科書・リザーブドブック】 岩崎テル子 他編「標準作業療法学 作業療法評価学 第2版」医学書院 2013年 5,800円(税別) 津山直一 訳「新・徒手筋力検査法 第8版」協同医書出版社 2010年 7,500円(税別) 著者・中村隆一ら、基礎運動学第6版補訂、医歯薬出版、2013年、¥6,800(税別)								
【参考書】 編者・中村隆一ら、運動学実習第3版、医歯薬出版、2014年、¥3,400(税別) 監訳・野島元雄ら、図解 四肢と脊椎の診かた、医歯薬出版、2011年、¥5,200(税別)								
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) ・成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。 ・レポート60%、試験30%、参加態度など10%の割合で総合的に判定する。								
【達成度評価】	試験	小テ スト	レポート	成 果 発表	実技	ポ ー ト フ ォ リ オ	参 加 態 度	合 計
総合評価割合	30	20	20	0	20	0	10	100点
評 取り込む力・知識	15	10	10		10			45

平成 26～28 年度入学者用

価 指 標	思考・推論・創造の力	15	10	10					35
	コラボレーションとリーダーシップ							5	5
	発表力								0
	学修に取り組む姿勢					10		5	15

【授業日程と内容】

回数	講義内容	授業の運営 方法	学修課題(予習・復習)	時間 (分)
1 9/30	オリエンテーション レポートの書き方	講義	予習：次回単元の教科書な どを読んでおく。	30分
2 9/30	身体運動の面と軸 関節運動のとらえ方	講義・実技	予習：次回単元の教科書な どを読んでおく。	30分
3 10/7	関節可動域測定（上肢）	講義・実技	予習：次回単元の教科書な どを読んでおく。	30分
4 10/7	関節可動域測定（上肢）	講義・実技	予習：次回単元の教科書な どを読んでおく。	30分
5 10/21	関節可動域測定（手指）	講義・実技	予習：次回単元の教科書な どを読んでおく。	30分
6 10/21	関節可動域測定（手指）	講義・実技	予習：次回単元の教科書な どを読んでおく。	30分
7 10/28	関節可動域測定（下肢）	講義・実技	予習：次回単元の教科書な どを読んでおく。	30分
8 10/28	関節可動域測定（下肢）	講義・実技	予習：次回単元の教科書な どを読んでおく。	30分
9 11/4	頭頸部・体幹：骨格の骨性指標のとらえ方 体表の筋や動脈、神経の位置を確認する	講義・実技	予習：次回単元の教科書な どを読んでおく。	30分
10 11/4	筋力検査：頭頸部・体幹	講義・実技	予習：次回単元の教科書な どを読んでおく。	30分
11 11/18	上肢帯および上肢：骨格の骨性指標のとらえ 方 各関節運動について基礎的な理解を深める	講義・実技	予習：次回単元の教科書な どを読んでおく。	30分
12 12/2	筋力検査：上肢帯および上肢	講義・実技	予習：次回単元の教科書な どを読んでおく。	30分
13 12/2	下肢帯および下肢：骨格の骨性指標のとらえ 方 各関節運動について基礎的な理解を深める	講義・実技	予習：次回単元の教科書な どを読んでおく。	30分
14 12/9	筋力検査：下肢帯および下肢	講義・実技	予習：次回単元の教科書な どを読んでおく。	30分
15	手：手の構造、拇指の動き、前腕筋の腱作用	講義・実技	予習：次回単元の教科書な	30分

平成 26～28 年度入学者用

12/9	について、基礎的な理解を得る。筋持久力検査		どを読んでおく。	
------	-----------------------	--	----------	--

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。